

# 「熊本地震震災ミュージアムのあり方検討有識者会議」 を設置します。

熊本地震の経験や教訓を風化させず確実に後世に伝えるため、熊本地震震災ミュージアム（仮称）のあり方について、専門的見地から識者の御意見等をいただき、その方向性を整理することを目的に、有識者会議を設置します。

記

## 1 会議名

熊本地震震災ミュージアムのあり方検討有識者会議

## 2 会議委員

別紙のとおり

## 3 会議における検討事項

- ① 熊本地震により出現した断層や被災建物等の保存価値・意義について  
（後世に何を残すべきか）

（例）

- ・ 防災教育の観点から
- ・ 地質学、地震学、建築学等多様な学術的観点から
- ・ 文化・郷土歴史、文化財保護の観点から
- ・ 鎮魂、追悼などの観点から
- ・ 国内外への情報発信の観点から 等

- ② 熊本地震震災ミュージアム（仮称）のあるべき姿について  
（求められる震災ミュージアムの姿とは）

（例）

- ・ 防災教育に活用するためには
- ・ 学術的に活用するためには
- ・ 持続可能な運営をするためには
- ・ 国内外に情報発信するためには 等

## 4 会議の概要、スケジュール

会議は8月までの間に4回の開催を予定しています。

○第1回会議

日時：平成29年6月7日（水） 13時30分から15時30分

場所：ホテル熊本テルサ2階 さくら

議事（予定）：

- 県の取組みや県内の震災遺構候補の説明
- 国内の震災遺構・震災ミュージアム整備概要の説明
- 今後のスケジュール
- フリーディスカッション

※会議は冒頭のみ公開とし、議事については非公開とします。

会議終了後、担当課で取材対応をさせていただきます。

お問い合わせ先

熊本地震震災ミュージアムのあり方検討に関すること

危機管理防災課 熊本地震検証室 アーカイブ推進班

林田・松本・北坂（内線7811）ダイヤルイン096-333-2837

(別紙)

熊本地震震災ミュージアムのあり方検討有識者会議委員

(50音順 敬称略)

氏名	所属・職名
磯田 節子	熊本高等専門学校 特命客員教授
井手 修身	イデアパートナーズ株式会社 代表取締役
柿本 竜治	熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター長 熊本大学大学院 先端科学研究部 教授
鈴木 康弘	名古屋大学減災連携研究センター 教授
竹内 裕希子	熊本大学大学院 先端科学研究部 准教授
服部 英雄	くまもと文学・歴史館 館長
吉村 静代	益城だいすきプロジェクト 代表